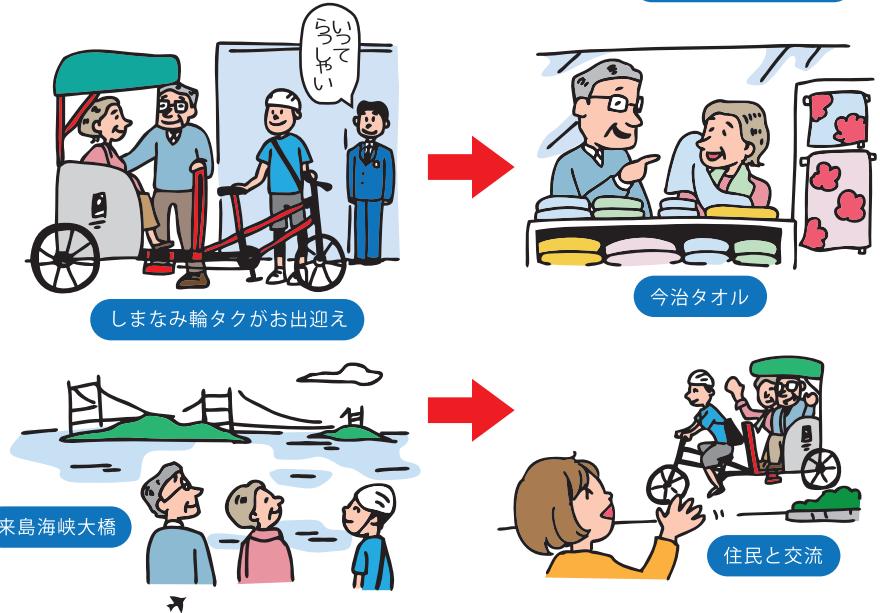


今日も「自転車の聖地」の奮闘はつづく

「しまなみ輪タク」でつくる今治シビックプライド

世界中からやってくるサイクリストをお迎えする我がまち

颶爽と駆け抜けるスポーツバイクが日々、往来する。自転車は身近な乗り物で、誰もが乗ったことがある移動手段だけど、スポーティーに走り抜けるスポーツバイクはちょっとこわい。住民の中にも愛好者は増えたが、意外に住民の多くが率直に思っていることかもしれない。でも、ちょっと脇道にそれで、会話を楽しんだり、立ち止まってカメラのシャッターをおたり、まちに溶け込む来訪者は増えている。



おみやげに 旅の記念に

世界品質のタオルはいかが?

今治タオル本店見学コース

所要時間: 1時間 乗車運賃: 1000円 / お一人様

「シクロの家」→はーばりー→今治城→今治タオル本店→「シクロの家」

今治市は120年続くタオル産業の聖地。「安心・安全・高品質」なジャパンクオリティの代表製品としてゆるぎない地位を確立しています。特に、そのやわらかさと吸水性の高さは世界中から称賛を集めています。すばらしい使い心地をぜひ体感ください。



今治タオル本店
住 今治市東門町 5-14-3 電 TEL 0898-34-3486
今治タオル今治国際ホテル店
住 今治市旭町 2-3-4 今治国際ホテル内 電 TEL 0898-32-5533

ご利用にあたって

しまなみ輪タクは事前予約が必要です。

乗車日の7日前までにお申し込みください。

- しまなみ輪タクの定員は2名です。お一人さまでもご利用できます。
- 大人と子どもの料金は同額です。料金にはガイド料が含まれます。
- 途中、飲食店やみやげ物店などに立ち寄る場合の所要時間は含まれていません。
また料金に飲食費等は含まれません。
- スタート場所のシクロの家には駐車場がありませんので、近隣の駐車場をご利用ください。

しまなみ輪タクへの
乗車申し込み・
お問い合わせは



シクロツーリズム
しまなみ
CycloTourisme Shimanami

〒794-0026 愛媛県今治市別宮町8丁目1番55号
TEL & FAX 0898-33-0069
<http://www.cyclo-shimanami.com>

supported by



「高速道路利用・観光・地域連携推進プラン」の支援を受けて実施しています。



新しい交通手段として注目されています



▲今治の街をゆっくり走る自転車タクシー

しまなみ海道のお膝元・今治に登場した新しい乗り物の「しまなみ輪タク」。その名のとおり、運転手が自転車を漕いで乗客を運ぶ乗り物です。東南アジアや中南米の国々では、市民の移動手段や観光用として利用されています。また日本でも戦後間もない頃、移動手段として「輪タク」が使われていました。その輪タクが今、新しい交通手段として注目されています。ガソリンを使わず排ガスも出ないので、環境にとても優しいからです。特に、環境問題に熱心な欧米では、観光地を抱える都市でよく見かけるようになってきました。車体の軽量化、ブレーキの高性能化、電動アシストなど技術の発達も、輪タクの普及を後押ししています。

誰でもサイクリングの爽快感が味わえます

今治の自転車タクシーは、運転手がガイドしながら、今治のまちを巡ります。輪タクでのプチトリップの魅力を、3人のガイドに聞いてみました。

「今やしまなみ海道は、自転車の聖地として世界に名が知られていて、その素晴らしさが日々発信されていますが、自分は自転車に乗れないから、そんな素晴らしさとは無縁だとあきらめている方もいると思います。

でも、しまなみ輪タクなら、誰でもしまなみサイクリングの爽快感を味わうことができるんです！」（加藤）

と、目を輝かせて話します。自転車の魅力のひとつは、風を切って走ること。その感覚を、小さなお子さん、ご高齢の方、ハンデキャップのある方、本当に誰にでも楽しんでもらうことができるんですね。

しかも車やバイクのようにエンジンの音がない。スーッと加速してスピード感を味わえる。ぼくも乗客になってみたんですが、新鮮な感覚で楽しかったです」（宇都宮）

自分で運転しないので視界も動かせるし、「人に漕いでもらう」のは少々優越感があるとのこと。周りからの注目度も高く、ちょっとしたセレブ気分が味わえそうです。



また、輪タクを停めて説明していると、まちの人たちが声をかけてくれ、さらにおもしろい裏話を聞かせてくれるなど、お客様とまちの人との出会いも生まれています。「今までサイクリングツアードで何度もガイドを務めてきたけど、自転車タクシーの運転手はそれ以上におもしろい。定年後のライフワークにしたい！」（吉武）

自転車の魅力とガイドによる案内で、おもしろさがぐっと深まる輪タクの旅。ぜひ一度、試してみませんか。

しまなみ輪タクで立ち寄りたい

おすすめはココ！

カトゥーさんのおすすめ
浜の台所 潮里 ★しまなみ海道体験コース

大浜漁協のおかあさんたちが切り盛りする食堂で、地元の魚が味わえます。おかあさんたちがとにかく明るくて、元気になること間違いなし。穴子丼が特におすすめ！

住 砂場町2-663-3 電 0898-31-0111

ナリちゃんのおすすめ
ナカムラコーヒー ★今治城周遊コース

商店街にある、気軽に立ち寄れるコーヒー・ショップ。若い店主が、エスプレッソコーヒーの文化を今治に根付かせようがんばっています。スイーツも手作りですよ！

住 常盤町3-5-2 電 0898-52-7700

アチャ吉武のおすすめ
かねと食堂 ★今治建築巡りコース

創業が明治半ばの老舗食堂。なんていったつて何んまいがいいし、朝早くからみんなもりもり食べていて、ちょっと異国を感じます。おすすめは鴨なんぱとオムライス！

住 室屋町1-2-16 電 0898-22-1997



楽しさいっぱいのいまばり輪タク

今治の魅力を満喫できるコースをご用意しました！

1

今治城周遊コース

所要時間／30分 料金／1000円お一人さま

START

シクロの家



シクロツーリズムしまなみが運営するゲストハウス。世界からのサイクリストや旅人たちに加え、地元住民も集まり、いつもにぎやか。サイクルオアシスの総合拠点。

住 北宝来町 1-1-12 電 0898-35-4496

巨大プロペラ前



海事都市・今治を象徴するモニュメント。陽の光に輝く黄金のプロペラは直径9m、重さ約93t。世界最大級のコンテナ運搬船と同じ大きさ。

今治城



日本三大海城の一つで、全国でも珍しい敷地内に海水をめぐらせた城として有名。築城は関ヶ原の戦いで名をあげた藤堂高虎による。

みなと交流センター はーばりー



船の形をしたユニークな建物が目を引く、今治港にある交流拠点。バス乗り場や船の待合所、カフェやレストラン、レンタサイクル、レンタルスペースなどを備える。

GOAL

シクロの家



3

しまなみ海道体験コース

所要時間／2時間 料金／2000円お一人さま

START

シクロの家



みなと交流センター はーばりー



船の形をしたユニークな建物が目を引く、今治港にある交流拠点。バス乗り場や船の待合所、カフェやレストラン、レンタサイクル、レンタルスペースなどを備える。

城慶寺



16世紀中頃に開山したと伝わる曹洞宗の寺。2018年には日本遺産『村上海賊の記憶』の構成文化財に追加認定された。

大浜漁港



来島海峡大橋を望む漁港。たくさんの漁船が係留され、港の風情が漂う。沖を行き交う船を眺めていると、時間が経つのを忘れてしまいそう。

マリーナパーク王浜



大浜漁港よりさらに来島海峡大橋が間近に見られる。緑の芝生が広がる広場で、目の前の海峡の眺めを楽しみながらひと休みしよう。

カメラをもって行かなくちゃ!
インスタ映え確約のオススメ撮影ポイントです。



海の絶景も山の絶景も一度に楽しめる

来島海峡大橋に向かって海沿いを走るこのルートは、「はまかぜ海道」の愛称で呼ばれる。城慶寺門前の防波堤は、来島海峡や大橋、今治市街地の向こうに四国山地がそびえる景色が眺められる絶好のビューポイントだ。



こちらもチェック! お好み焼き 昌万 大浜漁港近く

女将のミコちゃんは、「会わざして今治を去ることなき」と言われるほどの名物人情おばちゃん。抜群の容客力で迎えてくれる。そのミコちゃんが焼くお好み焼きも、ボリューム満点で満足度大。



2

今治建築巡りコース

所要時間／30分 料金／1000円お一人さま

START

シクロの家



今治市庁舎(本館)
公会堂・市民会館



「世界のタンゴ」と言われ、日本人建築家として最も早く国外で活躍した建築家・丹下健三氏。今治市庁舎(本館)・公会堂・市民会館は、すべて氏の設計によるもの。

今治ラヂウム温泉



街角に突如現れるレトロモダンな建物。戦前に建てられたものだが、時代を経ながら増殖したかのように奇怪な姿となった。2014年まで銭湯として利用されていた。

母恵夢本舗 本町本店



瀬戸内銘菓・母恵夢(ぼえむ)を製造販売する母恵夢本舗の本店。一見すると普通の菓子店のようだが、店の外に出て見上げてみよう。そこにあるのは、なんと!?お城だ。

住 本町 2-1-29 電 0898-32-5660

みなと交流センター はーばりー

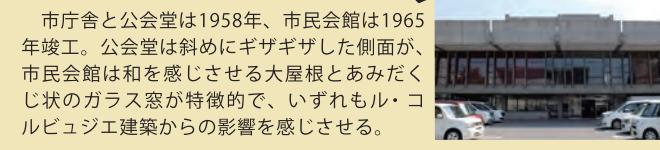


船の形をしたユニークな建物が目を引く、今治港にある交流拠点。バス乗り場や船の待合所、カフェやレストラン、レンタサイクル、レンタルスペースなどを備える。

GOAL

シクロの家

丹下建築が一堂に集まる



市庁舎と公会堂は1958年、市民会館は1965年竣工。公会堂は斜めにギザギザした側面が、市民会館は和を感じさせる大屋根とあみだくじ状のガラス窓が特徴的で、いずれもル・コルビュジエ建築からの影響を感じさせる。

こちらもチェック! 今治の"変チク物"めぐり

「変チク物」とは、ちょっと風変わりな建築物を意味する造語なんですが、これが「今治」にはたくさんあります。いやはや、今治人の発想とは、丹下健三さんも、伊東豊雄先生も凌駕しているのでは、とおもうことしばしだ。今治「変チク物めぐり」いかがですか？

その代表格が

御城山ハイツ
(高井城)



「今治城を見下ろすお城型のマンションを建てる」というお方が作った、これぞ「変チク物」。

忘れてはならない

日本食研 宮殿工場

「焼肉焼いても、家焼くな！」の日本食研さんがタレや唐揚げ粉を作っている工場。オーストラリアのウイーンにあら「ベルベーテル宮殿」をモチーフに建設された。

今治まちなかマップ

